

1 まちづくり計画の目的・役割と取組の経緯

(1) まちづくり計画の目的・役割

住みよい地域を築いていくためには、みんなで共有できる目標や方針などを持ちながら、住民同士が、そして住民と行政が連携・協力し、一步一步着実に、かつ持続的にまちづくりに取り組んでいくことが大切です。

また、大塚は、西風新都の中央部付近にあり、この10数年の間に大きく変貌をとげてきました。その過程では、都市センターにおける土地区画整理事業の中止があり、当初の計画通りとは言えませんが、アストラムラインや広島高速4号線(広島西風新都線)の整備、広島市立大学の立地など、広島市の中でも集中的に公共投資がなされた地区の一つといえます。

ただ、まちづくりは、大きな事業だけでなく、生活道路を良くする、通学路を安全にする、危険な箇所を改善する、生き物のすむ川を取り戻すなどの身近な取組もたくさんあります。また、地域の歴史文化を調べて次世代に伝えること、イベントの開催、伝統行事の活発化、農地や里山を生かした住みよい環境をつくることなど、ソフトを中心とした取組も含まれます。

こうした状況を踏まえ、私たちのふるさと・大塚が、より住みよく、いきいきと持続的に発展していくため、大塚の**未来づくりの指針となる「まちづくり計画」**を策定しました。

なお、このまちづくり計画は、今後の社会経済条件の変化などに柔軟に対応しながら、実効性を確保していくため、必要に応じて見直しを行っていきます。

また、計画の具体化においては、地域住民の理解と協力、そして参加を得ながら、優先順位を検討し、一步一步、着実に取り組んでいくことが大切であると考えます。加えて、大塚・伴南学区社会福祉協議会などの地域活動団体や行政との連携も図っていきます。

まちづくり計画の目標年次

具体的な活動をしていくためには、いつまでに行うかを明らかにすることが大切であり、目標とする期間を設定することが現実的となります。

このため、長期性と区切りの良い年次を勘案し、10年を一区切りとして、2020年(平成32年)をまちづくり計画の目標年次とします。

そして、ある段階に達したとき、実現できたこと、一部できたこと、できなかったこと、状況の変化に応じて内容を変更したことなどを振り返り、評価・反省しながら、次の段階へ進んでいくことが求められます。

大塚上まちづくり計画の目標年次
2020年(平成32年)

(2) まちづくり計画の担い手と支えとなる道具(もの・こと)

まちづくりは、その担い手（主体）がいなければ動くことができません。

また、まちづくりの取組は、「行政に行ってもらうもの」だけでなく、「自分たちでやること、自分たちでできること」を見だし、住民自らが行動すること、さらには住民相互、住民と行政などが協力・連携（協働）することも大切です。

ここでは、担い手やその支えとなるもの・こと（道具）、そして課題や具体的な取組を見いだす例を示します。

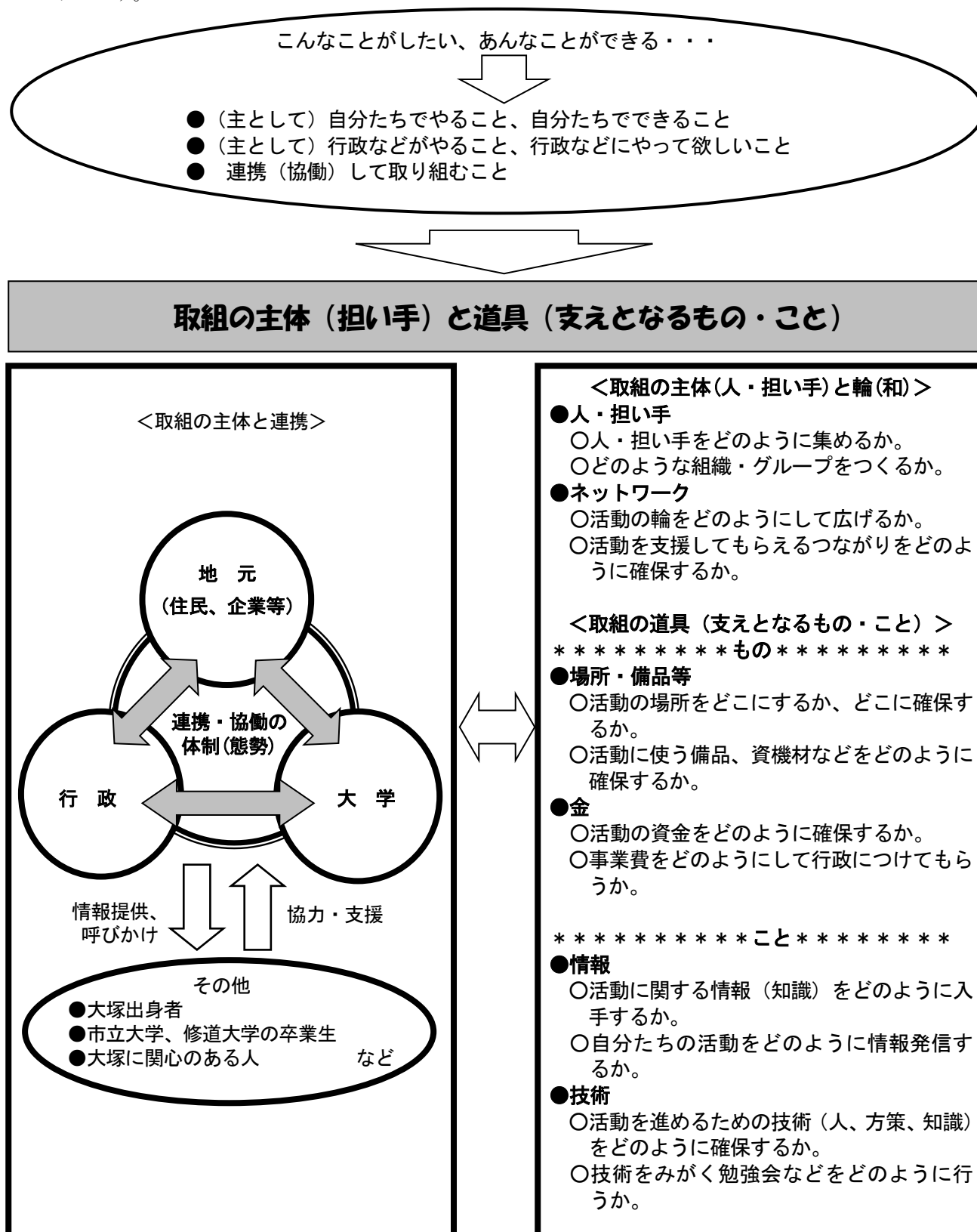


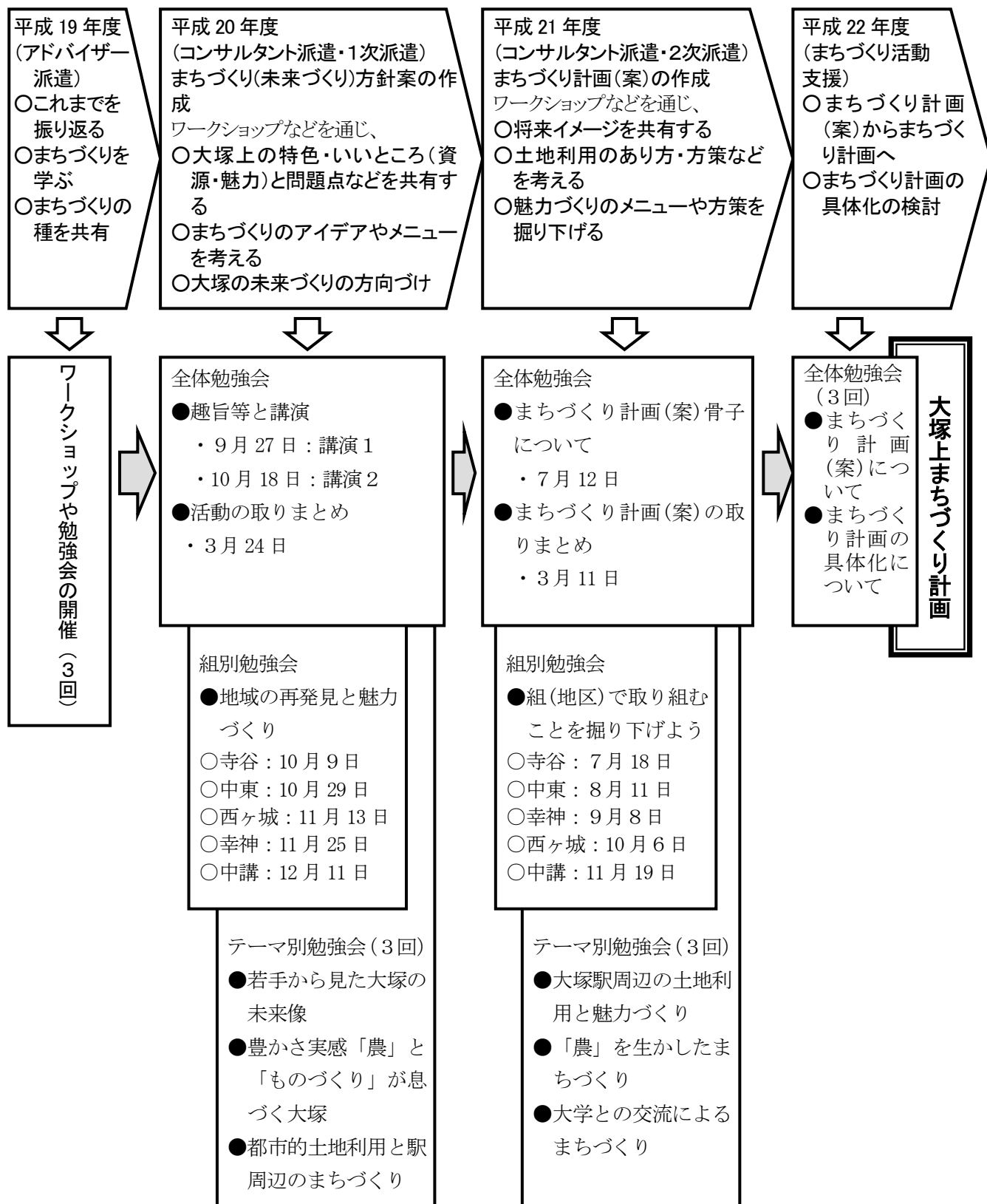
表 地域の課題や取組を見いだす例

区 分	道路・歩行者動 線・交通	河川、水路、 下水	コミュニティ 施設等	住宅まわりの 環境	農地、山林、 景観	文化、コミュニティ活 動、その他
■保全 「いいもの (宝)」の (再)発見・ 保全	○散歩道の保全 ○バス路線の維 持	○ホテルがすむ 環境の保全 ○自然に近い河 川の保全	○広場の環境保 全(維持管理)	○生け垣など緑 豊かな環境の 保全	○自然林の保全 ○農地の保全 ○西風トンネル 付近からの景 観の保全(魅力 づくり)	○伝統行事の継 承 ○郷土料理の継 承
■改善(除 去) 問題点・ 箇所 改 善・除去	○狭い道の改良 ○歩道の設置 ○ガードレール の設置 ○信号の横断時 間の延長 ○バスの増便・運 行時間の見直 し ○大型車の通行 制限	○河川の改良(防 災・安全性の強 化) ○河川の浄化へ の取組	○集会所の設備 等の修繕 ○広場のトイレ の修繕	○蚊の発生源の 除去 ○犬のフンのな い環境づく り・マナー向上	○荒れた山の改 善(維持管理) ○耕作放棄地を なくす(→活用) ○屋外広告物の 制限・美化誘導	○ごみの投げ捨 て、不法投棄の 撲滅(そのため の活動)
■活用 「現在ある もの」の見 直し・活用	○散歩道の延長 ○散策コースづ くり	○生き物のすみ やすい川づく り ○川と親しめる 環境づくり	○空き地の活用 によるコミュ ニティの場づ くり ○河川を生かし た公園の整備	○住まいやその 周りの土地を 生かした花い っぱいの環境 づくり	○竹を生かした 魅力づくり ○市民農園とし ての活用 ○耕作放棄地へ の景観作物等 (菜の花、コスモ ス…)の植栽 ○菜の花を生か した循環型社 会の取組: 菜の 花栽培、菜種 油、廃食油の活 用… ○地産地消の取 組	○神社、寺、文化 財を生かした まちづくり ○歴史文化を訪 ねるコース づ くり ○地域誌の作成 ○大学(市立大 学、修道大学) との連携 ○地産地消の取 組
■付加 「必要なも の」を新設 (付加)	○道路の新設 ○バス路線の新 設 ○歩道の設置	○下水道の整備 ○小型合併浄化 槽の整備促進	○公園・広場の新 設 ○広場へのエコ トイレの設置	○ゴミステージ ョンの新設	○新たな景観づ くり ○土地活用の検 討	○新たなイベン トの開催

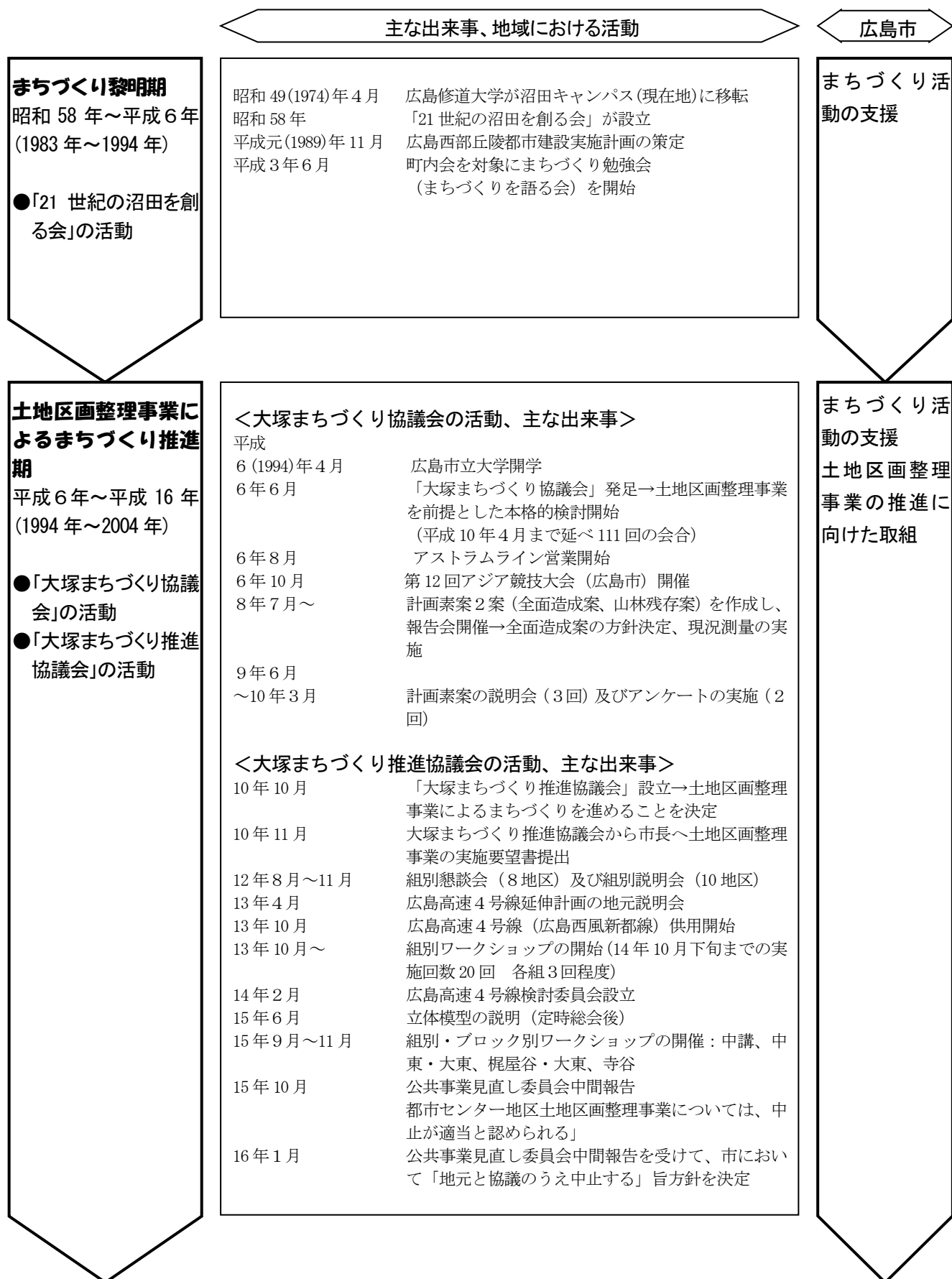
(3) まちづくり計画の策定の流れ

平成 19 年度のアドバイザー派遣から、平成 20 年度のコンサルタント派遣・1 次派遣及び平成 21 年度
の同・2 次派遣、そして平成 22 年度の勉強会まで、まちづくり計画の策定に向けた流れを整理すると、
以下ようになります。

【まちづくり計画の策定の流れ】



参考:これまでのまちづくりの取組(経緯)



新たなまちづくり 検討・行動期

平成 16 年(2004 年)
～

- 市立大学との連携(大塚かぐや姫プロジェクト)、修道大学との連携(まちづくりアイデアコンテスト)
- 大塚・伴南学区社会福祉協議会と広島市の連携(コミュニティバスの検討、福祉のまちづくり)
- 大塚上町内会「大塚未来会議」の立ち上げ
- 大塚下町内会「我がまち大塚を創る会」の立ち上げ

＜都市センタ地区土地区画整理事業中止後の主な取組＞

16 年 1 月	協議会役員会へ市の方針説明
16 年 2 月	まちづくり広報紙及び地元説明会により市の方針説明 協議会から市長・市議会議長への陳情 「まちづくりを継続するので引き続き、市の指導・協力をお願いしたい」「まちづくりコンサルタントの派遣を継続をお願いしたい」
16 年 3 月	大塚地区まちづくり推進協議会(区画整理推進地元組織)の対応検討開始
16 年 4 月	大塚上町内会を中心にまちづくりの協議・検討を開始
16 年 9 月	大塚地区敬老会で「懐かしい写真」のスライド上映 (地域を知り、新しいまちづくりをアピールする活動の開始)
16 年 10 月	竹のオブジェ制作 (里山・農地の保全、地域資源の活用、まちづくりのきっかけづくり)
16 年 11 月	道路公団用地を借り上げて菜園づくりを行う(大塚上町内会、1月完成)
17 年 6 月	広島市立大学アートプロジェクト地元開催決定
17 年 8 月	アートプロジェクト開催(～10月)
17 年 9 月	大塚上町内会まちづくり部会発足
17 年 10 月	広島市立大学と地元の交流会(アートプロジェクト関連) 地域を知る勉強会開催(地域の歴史を知る)
17 年 11 月	広島市立大学と地元の交流会(ふいご祭参加) アートプロジェクト合同反省会
17 年 12 月	大塚・伴南学区社会福祉協議会において「ループバス」の検討開始
18 年 1 月	広島修道大学と地元の協議開始
18 年 3 月	広島市立大学と地元の交流会(大塚・かぐや姫プロジェクトの提案)
18 年 4 月	広島修道大学「まちづくりアイデアコンテスト」の開催決定 (大塚地区のまちづくりのきっかけづくり)
18 年 6 月	出雲玉造アートフェスティバル視察(市大教員・地元)
18 年 7 月	広島修道大学「まちづくりアイデアコンテスト」開催(第1回)
18 年 9 月	大塚・かぐや姫プロジェクト(第1回)
18 年 10 月	大塚縁側談義開催
18 年 11 月	大塚まちかどニュース発行 広島市立大学と地元の交流会(ふいご祭参加)
18 年 12 月	西風新都建設実施計画見直し委員会開催
～19 年 11 月	西風新都建設実施計画見直しに係る地元説明会開催
19 年 7 月	「ループバス」の試験運行(大塚・伴南ふれあい祭)
19 年 8 月	広島修道大学「まちづくりアイデアコンテスト」開催(第2回)
19 年 9 月	まちづくり意向調査の実施(社協) 大塚・かぐや姫プロジェクト(第2回)
19 年 11 月	広島市立大学と地元の交流会(ふいご祭参加)
19 年 11 月	大塚・未来会議の開催(3回:アドバイザー派遣)
～20 年 3 月	
20 年 2 月	「ひろしま西風新都 都市づくり推進プラン」策定
20 年 7 月	「ループバス」の試験運行(大塚・伴南ふれあい祭)
20 年 8 月	広島修道大学「まちづくりアイデアコンテスト」開催(第3回)
20 年 9 月	大塚・かぐや姫プロジェクト(第3回)
20 年 9 月	大塚上町内会コンサルタント派遣(1次派遣)
～21 年 3 月	(全体会3回・組別各1回 計5回・テーマ別3回)
21 年 7 月	大塚上町内会コンサルタント派遣(2次派遣)
～22 年 2 月	(全体会2回・組別各1回 計5回・テーマ別3回)
21 年 10 月	大塚・かぐや姫プロジェクト(第4回)
21 年 11 月	レンゲの里づくりプロジェクト
22 年 7 月	大塚・伴南社会福祉協議会内に「循環バス導入検討委員会」を設置し、導入の検討を開始
22 年 10 月	大塚・かぐや姫プロジェクト(第5回)

まちづくり組織の立ち上げ支援
まちづくり活動の支援(アドバイザー・コンサルタント派遣など)
隣接大学との連携の働きかけ
(西風新都建設実施計画の見直し)ひろしま西風新都 都市づくり推進プラン